

# 緑化だより

No.66 平成23年11月号



緑化相談所下の紅葉 平成22年11月15日撮影

○きのこの味“苦い味のきのこ(5)”

○サクラのあれこれ (8)

○野鳥の世界

○季節の植物

○研修会紹介

○お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# きのこの味

## 苦い味のきのこ(5) コウモリタケ(蝙蝠茸)

きのこの名前を判別する時、その判断材料の一つに“味”があります。生のきのこを少しだけかじってみるのです。味が無いものが多いのですが、中には辛いとか苦いとか酸っぱいものもあります。今月も苦い味のきのこをとりあげます。

コウモリタケはマツやモミなどの針葉樹林に発生する中型～大型のきのこで、マイタケのような形をしています。この形がコウモリが飛んでいる様子を想像させるのでこう名付けられました。

傘表面は鮮黄色ですが裏側は白色です。乾燥すると表面は色あせ、くすんだ朱色になります。きわめて辛いので食用には不向きです。

コウモリタケに似たきのことしてニンギョウタケ(食用)がありますが、傘表面の色は鮮黄色ではなく黄白色～肌色で色合いが異なります。トンビマイタケ(食用)も形が似ていますが傘表面の色は淡褐色～茶褐色です。



コウモリタケ

# サクラのあれこれ(8)

## ポトマックの桜

明治に入ると、サクラを愛好する外国人により紹介されるようになりました。

紀行作家として著名なエリザ・R・シッドモアもその一人で、サクラに惚れ込み、その著「日本・人力車旅情」でサクラの美しさを紹介しています。彼女は友人である当時のタフト大統領夫人に「アメリカにサクラを。」と熱心に働きかけました。当時同じ思いをもつ多くのアメリカ人や日本人の熱意が東京市長尾崎行雄に伝わり、明治42年にサクラの苗木を贈ることになりました。

最初に贈られた10品種のサクラの苗木2,000本は病虫害がついていたため、ことごとく焼却処分されました。そこで、静岡県清水市興津農事試験場に依頼して、病虫害を受けていない苗木作り

に精魂を込め、明治44年に新しくソメイヨシノ約1800本、八重桜約1200本の3000本を送りました。

アメリカの検疫は、わずか2年の間に全く病虫害に侵されていない苗木を作った日本の技術の高さに感心し賞讃しています。このサクラは今もワシントンのサクラとして、多くの人に観賞されています。

アメリカでは日本のように桜の木の下で飲食をしないので、静かに観賞する風情は日本と違うところです。

ワシントンへサクラの苗を送るためには、多くの費用が必要でしたが、日本郵船が初回も2回目も運賃無料で運んだ記録が残っています。

この時のソメイヨシノが興津の試験場に植えられており、100年を超えてなお健全に生育しています。ポトマック河畔でも植栽100年を経過していますが、元気な姿を今も見せています。

その返礼として、大正4年にハナミズキがアメリカから贈られたことは広く知られているところです。

また、尾崎行雄はサクラへの思い入れが深く、晩年次の歌を詠んでいます。

“人の世は移り変われどこの花は永く栄えて好意結ばん”

八重桜の一種「十月桜」は今緑化センター苗畑で満開に花開いています。



ポトマック河岸の桜

# 野鳥の世界

## モズ

“キーキ・キッ・キッ・チョッ・チョッ”とひとときわ高きさえ渡る声が聞こえるようになると、冬が間近に迫ってきた証しです。それほどモズの声には力強さが感じられます。

猛禽の中では最小でもれっきとした肉食で、昆虫の類からトカゲ、ネズミ、モグラなど雑食します。“百舌の速贅”(もずのはやにえ)と呼ばれ木の枝やトゲに串刺しにして冬期の食糧にしています。魚を速贅にしているのを見ると、水の中まで入って捕らえると考えられます。

トカゲ、カエル、バッタ、カマキリが多いのは、数が多く、活動半径が広いモズにとっては絶好の標的になるものと考えられます。

モズは別名「百舌鳥」とも呼ばれ、他の小鳥の鳴き声を真似て安心させて襲うことが知られています。メジロ、ホオジロ、スズメなどが犠牲になるようです。モズの鳴き真似は聞いているとよく聞き分けられるのですが小鳥達は一瞬気を許すのではないのでしょうか？真冬になって餌が少なくなるとよく鳴き真似をするようです。

モズは留鳥で周年同じ地域に棲みついています。春の子育ての時と、秋から冬期以外では、目に入ることは少ないようです。飛ぶスピードが速く、地上に近い高さを保って移動しているからでしょう。背景に溶け込んでいるのです。

最近では広島近郊でも住宅地域が拡大し、モズが好む環境が少なくなりました。広い緑化センターでは、一番(ひとつがい)が繁殖している程度ですが、普段その姿を見ることはまれです。これからの季節、高鳴きの声を頼りに探せばその姿を見つけることができるでしょう。



テリトリーを見張るモズ

## 季節の植物

11月は園内全域で紅葉、花、木の実が楽しめます。

紅葉する樹木には次の植物があります。

まず緑化センター自慢のオオモミジ。管理事務所周辺で楽しんでいただけます。他には、イロハモミジ、ヤマモミジ、イタヤカエデ、アメリカフウ、台湾フウ、ネグンド

カエデ、カラコギカエデ、トウカエデ、ハナノキ、メグスリノキ、ニシキギ、リョウブ、ランシンボク、ナンキンハゼ、カキノキ、ガマズミ、マルバノキ(ベニマンサク)、ドウダンツツジ、チドリノキなどがあります。

木の实では、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ、ガマズミ、トキワサンザシ、タチバナモドキ、カマツカ、アオダモ、カンボク、タラヨウなどが観察できます。又、今の時期咲く花にフユザクラ、ジュウガツザクラ、ベニマンサクなどがあります。



管理棟前のオオモミジ



ベニマンサクの花

# 研修会紹介

- 11月5日(土) 『11月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前 集合  
11月の樹木や紅葉を観察しよう 講師:環境省稀少野生動植物推進委員  
吉野 由紀夫
- 11月9日(水) 『秋の写真教室』 10:00～12:00 学習室 集合 カメラ持参  
緑化センターの紅葉を撮ろう 講師:二科会会友 宗岡 泰昭
- 11月13日(日) 『秋の落葉遊び』 10:00～12:00 学習室 集合  
紅葉した落葉を使って遊ぼう 講師:広島市ネイチャーゲームの会  
住吉 和子
- 11月19日(土) 『晩秋の植物観察会』 10:00～12:00 管理事務所前 集合  
冬支度の木々を観察しよう 講師:植物研究家 清藤 徹
- 11月23日(日) 『どんぐりクッキング』 10:00～12:00 学習室 集合  
どんぐりでクッキーを作ろう! 講師:広島市ネイチャーゲームの会  
住吉 和子

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### もみじ祭り

11月3日(木・祝)～11月23日(水・祝)

期間中 クイズラリー(景品あり) 別紙チラシをご覧ください

### ・広島市森林公園開園記念日協賛イベント 11月3日(木・祝)10:00～15:00

レストハウス周辺 無料シャトルバス運行(登石⇄森林公園 森林公園⇄緑化センター)

### ・藤ヶ丸山もみじ狩りハイキング 11月5日(土)9:00～13:00

参加無料 定員50名 集合場所:緑化センター第5駐車場

申込方法 ハガキに、イベント名、住所、参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入し

10月27日(木)(消印有効)迄、[広島市森林公園宛\(TEL.899-8241\)](tel:899-8241)

### ・もみじを楽しむイベント

11月13日(日) 10:00～15:00

レストハウス周辺

### ・レストハウス・ボード展示

○ [私の好きな緑化センター写真展](#) 11月5日(土)～12月4日(日)

写真愛好家による緑化センター写真の展示

### ・レストハウス・ガラスケース展示

○ [モーモーアート手作り作品展](#) 10月26日(水)～12月4日(日)

手作り小物の作品を展示します。

○ [季節のきのこ](#) (常設展示)

レストハウスにて、その季節に見られるきのこの実物展示をしています。